



【 ご注意 】

本製品は、1物件で1000㎡(約750枚)を超える注文の場合は在庫不足が発生する場合がありますので、ケイミー特建営業開発室にご確認下さい。

販売エリア:一般地域限定

市区町村の境はウェブサイトでご確認ください。

- 一般地域
- 寒冷地域



一般名称	窯業系サイディング
塗装仕様	アクリル系クリヤーコート

性能一覧

項目	SOLIDO typeF facade	試験方法
比重(絶乾)	1.15*	105℃ 24時間乾燥
含水率	20%以下	JISA5422
吸水率	50%以下	吸水24h→105℃・24h
曲げ破壊荷重	785N以上	JISA5422
耐衝撃性	合格	JISA5422

※弊社測定値です

国土交通大臣認定

準不燃材料	QM-0629
-------	---------



品番	PEA6651K19/59
色名	セメント
サイズ	16×455(働き幅)×2990mm
梱包入数	2枚/梱
1枚当りの㎡数	1.36㎡/枚
1枚当りの重量	約29kg/枚

ご採用にあたり

商品について

- 製品本体保証の対象となります(色の保証はございません)。保証の内容に関しては「SOLIDO typeF facade」(ウェブサイト)をご覧ください。
- 本製品の販売地域は一般地域です。寒冷地域では凍害現象が発生する可能性がありますので、販売しておりません。
- 本製品は素材から出た自然な色合いの為、一枚一枚の色、白華の風合いが大きく異なります。また、似た風合いの製品が混ざる場合がありますが、色味、風合いの指定はできません。色味、風合いについての返品・交換は致しかねます。
- シーリングと現場仕上げ塗料(補修塗料)はイメージ色で設定しています。
- 出隅角部は、面取り加工を施し、イメージ色の現場仕上げ塗料にて仕上げています。



シーリング



現場仕上げ塗料



出隅角部

- 本製品は雨水等の水掛かりにより、部分的に写真のような雨染みが生じる場合がありますが、品質の問題はございません。本製品が乾燥すると自然に目立ちにくくなります。本現象が事由での交換、補修は致しかねます。軒の出を長く設計する等、本製品の雨掛かりを抑える事で本現象は軽減できます。



接合部



本体粒状



本体しわ状

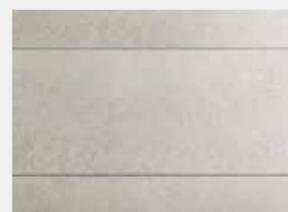
維持管理について

- このメンテナンススケジュールはお客様がメンテナンス計画を立てる際に目安とするためのご提案です。
- 定期点検は、5年に1回程度を目安に専門業者様にて行う点検となります。
- 日常点検は、1年に1回程度を目安に目視で確認できる範囲での点検となります。外壁に気になる変化を見つけた場合は、専門業者様にて再度ご確認いただき、必要な場合は早めのメンテナンスをお願いします。



建築物の地域、環境や使用条件によって劣化の進行状況が異なりますので、目安としてご利用ください。メンテナンス時期および内容を保証するものではありません。塗り替えについては、当社指定の塗料を使用した場合を想定しています。塗り替え後のメンテナンス時期は、使用した塗料により異なりますので専門の業者等にご確認ください。

- 本製品は10～15年を目安に、クリヤー塗料による塗り替えが必要です。当社指定のクリヤー塗料を使用する事で、自然の風合いを残した再塗装ができます。ただし、初期の状態と比較すると艶が出ます。表面の劣化状況によっては、クリヤー塗料ではなく有色塗料による単色仕上げとなる場合があります。



クリヤー仕上げ(イメージ)

単色仕上げ(イメージ)

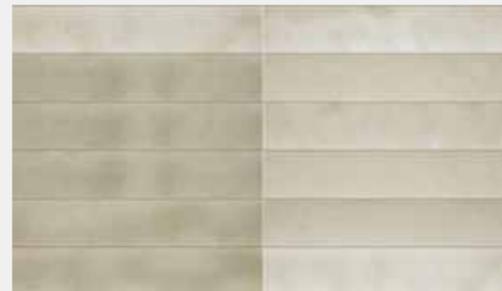
- 現地塗装用塗料や塗装仕様等については、下記に相談してください。

■ 水化学工業(株) 工業用塗料事業部 営業部	TEL 058-371-4600
-------------------------	------------------

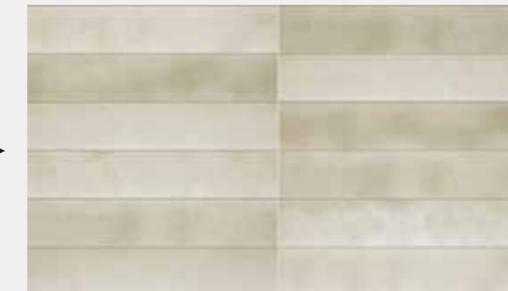
安全・使用上のご注意

- 一枚一枚の色味、風合いが大きく異なりますが、製造上色味、風合いの近い商品がかたよって出荷される場合があります。施工前に仮並べをして配置を検討してから施工することをおすすめします。

〈色味を確認しなかった例〉



〈色味を確認して配置を検討した例〉



- 適用工法は横張りです。(縦張りは不可)
- 換気フードは排水が本製品表面を伝わらないものを選定してください。
- 接続パイプと換気フードとの間の止水を確実に行ってください。

お手入れ方法について

- 高い所など危険をとまなう部位は、専門業者様が行ってください。
- 鳥の糞、砂ぼこり、藻、カビ等の汚れを落とす場合には、布や柔らかいスポンジ等を利用して軽く水洗いしてください。その際は本製品表面を傷付けないように十分に注意してください。水洗いで落ちない場合は、薄めた中性洗剤を布等につけて軽くふき落としてください。※藻やカビ等は、雨水が当たりやすい、湿気が多い等、菌が繁殖しやすい条件が整えば、どこにでも繁殖していきます。
- 本製品表面を痛めるおそれがありますので、下記の使用は避けてください。
 - ①シンナー等の溶剤
 - ②金属タワシ等の硬いブラシ
 - ③高圧水による洗浄やスチーム洗浄
- 水洗いする際の散水は、必ず本製品に対して下向きに行ってください。上向きに散水すると、接合部より漏水のおそれがあります。
- 土台部、屋根下部、入隅部、ベランダ等で落雪や積雪、吹き溜まりができる部分では、本製品が劣化するおそれがありますので、積雪をごまかに除去してください。